

つむぎ通信

2019 春

vol.1

「つむぎ」は
在宅医療と介護の
連携に関する相談に
対応しているのじゃ！



在宅連携センター「つむぎ」？

浜松市在宅医療・介護連携

相談センターの愛称です。

「つむぎ」は、高齢者を支える医療・介護・福祉関係者を対象とした在宅医療・介護連携を支援する相談窓口です。

(公財)浜松市医療公社が浜松市からの委託を受けて平成28年1月4日に開設し、早いもので4年目に入りました。

今回、多くの方に「つむぎ」を知っていただき、活用していただくことを目標に「つむぎ通信」を作成しました。

今後はこの「つむぎ通信」を通じて、「つむぎ」の活動、相談から見えた課題等をお知らせしていきます。



「つむぎ」はこんな相談に対応しています

☆ショートステイを利用したい。医療処置があるけど、受け入れてくれる所はないか？

☆入所施設を探したいが、経済的（生活保護・低所得）・身寄りがいない等、社会的に不安がある。

☆認知症や症状が強くなってしまったが、どこに受診したらいいか、迷う。

➡ 対応してくれる病院や施設を調べます。

☆どこの相談窓口で相談したらいいかわからない。

➡ お電話ください。話し合うことで問題の整理ができることもあります。

問題解決に向けての糸口が見つかるかもしれません。

多職種での検討が必要なケースも多いと思います。つむぎの主催で**多職種合同の個別対応策検討会議**を開くこともできます。

利用者の理解があれば、**同行訪問**することもできます。

ご連絡、お待ちしております。

2018年度「つむぎ」の実績

実件数：226件（2017年度145件）

延べ件数：727件（2017年度369件）



☆相談ケースから地域包括ケア病棟の重要性を感じ、市内の地域包括ケア病棟を訪問、6病院での意見交換会を開催

☆台風時の停電時の相談から、在宅で使用している医療機器の知識と停電時の対応策を知る必要性を実感し、行政と共に勉強会を開催

☆ケアプラン作成研修会やケース会議へアドバイザーとして参加

☆領域の異なる多職種連携による在宅医療・介護連携推進事業に参加
…等々

2019年度「つむぎ」の取り組み

☆ ケースひとつひとつ丁寧に対応し、事後フォローを行います。

☆ ケース検討会議へ参加し、専門職としての発言を心掛けます。

☆ 市内の地域包括ケア病棟意見交換会を支援します。

☆ 地域包括支援センターへ訪問し、連携強化に努めます。

☆ 情報収集のために、介護医療院へ訪問します。

☆ 施設・病院の受け入れ体制把握のため、アンケート調査を行います。

☆ 市内在宅医との意見交換会を開催します。
…等々

【編集後記】

「つむぎ」の一員になり、早くも1年。頼りにしていた男性陣が3月末に異動。

新たな事務員 高井（前勤務は南区、生活保護のケースワーカーで、介護保険・福祉制度に詳しい）清水（前勤務は医療福祉機器会社）を迎え、活動しています。

藤原（社会福祉士）と水崎（保健師）共々 今後もよろしくお願ひいたします。

（水崎）

http://zantaku2019.unim.jp

第1回大会
日本在宅医療連合学会

ひとつになる
医療 福祉 行政との協働 連携から統合へ まちづくりに貢献

2019
7/14(日) 7/15(月)
京王プラザホテル(新宿)

「日本在宅医療学会」と「日本在宅医療連合学会」は2019年に合併し、「日本在宅医療連合学会」として生まれ変わります。

2019年11月11日(日) 17:00～17:30
2019年11月12日(月) 17:00～17:30

「日本在宅医療連合学会」は「日本在宅医療連合学会」の2019年に合併し、「日本在宅医療連合学会」として生まれ変わります。

QRコード

日本在宅医療連合学会 第1回大会 が
7月14日(日)
15日(月)
京王プラザホテル(新宿)で開催されます。

「つむぎ」も2018年度の取り組みについて発表します。

在宅連携センター「つむぎ」

TEL：053-451-2807

Fax：053-451-2808

✉soudan@hamamatsucity-medical-co.jp

在宅連携センター

つむぎ浜松

http://www.hmedc.or.jp/tsumugi/index.html